

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第1回
上級 会 計 学 **解答用紙**

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(商業簿記と2科目で)

問題 1

	正誤	理 由
1		-----
2		-----
3		-----
4		-----
5		-----
6		-----
7		-----
8		-----
9		-----
10		-----

問題 2

問 1

(a)		(b)		(c)	
(d)		(e)		(f)	
(g)		(h)		(i)	

問 2

(ア)		(イ)		(ウ)	
(エ)		(オ)		(カ)	
(キ)		(ク)			

問3

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問4

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問題3

問1及び問2において金額がマイナスとなる場合は、金額の前に△を付けること。

なお、問1においては、すべての空欄〔 〕・()が埋まるとは限らない。

問1【キャッシュ・フロー計算書】(直接法による作成)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
〔 〕	()
商品の〔 〕	()
人件費の支出	()
その他の営業支出	()
小 計	()
利息及び配当金の〔 〕	()
〔 〕	()
〔 〕	()
営業活動によるキャッシュ・フロー	()
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	()
〔 〕	()
〔 〕	()
投資活動によるキャッシュ・フロー	()
財務活動によるキャッシュ・フロー	
〔 〕による支出	()
〔 〕	()
〔 〕	()
〔 〕	()
財務活動によるキャッシュ・フロー	()
現金及び現金同等物の増減額	()
現金及び現金同等物の期首残高	()
現金及び現金同等物の期末残高	()

問2【キャッシュ・フロー計算書(一部)】(間接法による作成)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益	()
[()
減損損失	()
[]	の増減額	(
[]	の増減額	(
受取利息及び受取配当金	()
[()
固定資産売却益	()
[]	の増減額	(
[]	の増減額	(
[]	の増減額	(
[]	の増減額	(
小計	()

問3

		解答欄			解答欄
①	当座預金		②	6カ月ものの定期預金	
③	売買目的有価証券		④	通知預金	
⑤	3カ月もののコマーシャル・ペーパー		⑥	(簿記・会計上の)受取手形	

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第1回 上級 商業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(会計学と2科目で)

損		益	
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	[]	売 上	[]
給 料	[]	受 取 利 息	[]
退 職 給 付 費 用	[]	受 取 配 当 金	[]
貸倒引当金繰入額*1	[]	有 価 証 券 利 息	[]
減 価 償 却 費	[]	有 価 証 券 評 価 益	[]
広 告 宣 伝 費	[]	[]	[]
支 払 利 息	[]	[]	[]
為 替 差 損	[]	/	
[]	[]		
[]	[]		
[]	[]		
[]	[]		
法 人 税 等	[]		
繰越利益剰余金	[]		
[]	[]		[]

* 1 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

残		高	
借方科目	金額	貸方科目	金額
現 金	[]	支 払 手 形	1,600,000
当 座 預 金	[]	買 掛 金	[]
受 取 手 形	[]	[]	[]
売 掛 金	[]	未 払 利 息	[]
売買目的有価証券	[]	リ ー ス 債 務	[]
繰越商品	[]	未 払 法 人 税 等	[]
繰延税金資産	[]	預 り 保 証 金	50,000
建 物	[]	長 期 借 入 金	3,000,000
リ ー ス 資 産	[]	退 職 給 付 引 当 金	[]
土 地	5,820,000	[]	[]
長期貸付金	[]	長 期 リ ー ス 債 務	[]
満期保有目的債券	[]	貸 倒 引 当 金*2	[]
その他有価証券	[]	建 物 減 価 償 却 累 計 額	[]
関連会社株式	[]	リ ー ス 資 産 減 価 償 却 累 計 額	[]
破産更生債権等	[]	資 本 金	18,000,000
/		資 本 準 備 金	750,000
/		利 益 準 備 金	730,000
/		別 途 積 立 金	54,000
/		繰越利益剰余金	[]
/		[]	[]
[]	[]	[]	[]

* 2 貸倒引当金は、本来、設定対象となっている債権ごとに算定される必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金をまとめて記入すること。

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第2回
上級 会 計 学 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(商業簿記と2科目で)

問題1

正誤	手持原材料や貯蔵品の売却額は、営業外収益の区分に計上されるのが原則である。
理由	
正誤	委託販売収益は、仕切精算書が販売のつど送付されている場合には、その仕切精算書の到達日をもって売上収益の実現の日とみなすことができる。
理由	
正誤	経過勘定項目のうち未払費用は、貸借対照表日の翌日から起算して1年以内に費用になるものを流動負債とし、1年を超えて費用となるものは、固定負債とする。
理由	
正誤	固定資産の減損損失は、帳簿価額とこれを下回る回収可能価額との差額として測定されるが、回収可能価額は、使用価値と正味売却価額のうち低い方の価額とされる。
理由	
正誤	支払手形、買掛金、借入金、社債その他の債務は、債務額をもって貸借対照表価額とする。ただし、社債を社債金額よりも低い価額又は高い価額で発行した場合など、収入に基づく金額と債務額とが異なる場合には、償却原価法に基づいて算定された価額をもって、貸借対照表価額としなければならない。
理由	
正誤	外貨建その他有価証券の換算では、外国通貨による取得原価を決算日の為替相場により円換算した額を付す。
理由	
正誤	繰延税金資産及び繰延税金負債は、これらに関連した資産・負債の分類に基づいて、原則、納税主体ごとに、繰延税金資産については、流動資産又は無形固定資産として、繰延税金負債については流動負債又は固定負債として表示しなければならない。
理由	
正誤	自己株式の取得に係る付随費用は取得原価となる。
理由	
正誤	過去勤務費用及び数理計算上の差異は、原則として、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を費用処理しなければならないが、この場合、数理計算上の差異については、当期の発生額を翌期から費用処理する方法を用いることができる。
理由	
正誤	連結財務諸表の作成において発生した負ののれんは負債として計上する。
理由	

問題2

問1

(a)		(b)		(c)	
(d)					

問2

評価性引当金の具体例	
非債務性引当金の具体例	

問3

(1) 引当金と未払費用の共通点

--

(2) 引当金と未払費用の相違点

--

問4

(1) 機械装置取得時の仕訳

(単位；千円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
		現 金 預 金	

(2) 決算時の仕訳

(単位；千円)

借 方	金 額	貸 方	金 額

問5

--

問6

問題3

問1

記号	用語	記号	用語
(A)		(B)	
(C)		(D)	
(ア)		(イ)	
(ウ)		(エ)	

問2

配当性向 = × 100 (%)

問3

(C) の観点から

(D) の観点から

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第2回
上級 商業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(会計学と2科目で)

問題 1

問 1 個別会計上の仕訳

1 退職給付費用の見積計上の仕訳

借 方	金 額	貸 方	金 額

2 過去勤務費用に係る仕訳

借 方	金 額	貸 方	金 額

問 2 個別財務諸表

損益計算書 (単位:円)

退職給付費用 ()	
------------	--

貸借対照表 (単位:円)

	退職給付引当金 ()
--	-------------

問 3 連結財務諸表

連結損益計算書 (単位:円)

退職給付費用 ()	
------------	--

連結貸借対照表 (単位:円)

	退職給付に係る負債 ()
	退職給付に係る調整累計額 ()

問題2

(単位：百万円)

	P 社		S 社		整理記入		連結財務諸表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
貸借対照表：								
現金預金	3,700		2,400					
売掛金	24,000		7,000					
貸倒引当金		480		200				
商品	18,000		12,000					
貸付金	11,000							
建物	30,000		9,000					
土地	25,000		20,000					
S社株式	16,700							
()								
繰延税金資産	300		200					
買掛金		17,220		18,200				
借入金		1,000		6,700				
未払法人税等		2,000		1,000				
繰延税金負債								
資本金		80,000		10,000				
資本剰余金		10,000		8,000				
利益剰余金		18,000		6,500				
評価差額								
()								
	128,700	128,700	50,600	50,600				
損益計算書：								
売上高		72,000		41,000				
売上原価	57,600		32,000					
貸倒引当金繰入	300		120					
減価償却費	4,200		780					
受取利息		250						
受取配当金		550						
支払利息	20		200					
その他の費用	2,300		6,900					
固定資産売却益				5,000				
()								
法人税等	3,600		2,500					
法人税等調整額		200		100				
()								
計	68,020	73,000	42,500	46,100				
当期純利益	4,980		3,600					
	73,000	73,000	46,100	46,100				
株主資本等変動計算書								
資本金当期首残高		80,000		10,000				
資本金当期末残高		80,000		10,000				
資本剰余金当期首残高		10,000		8,000				
資本剰余金当期末残高		10,000		8,000				
利益剰余金当期首残高		14,220		3,400				
剰余金の配当	1,200		500					
当期純利益		4,980		3,600				
利益剰余金当期末残高		18,000		6,500				
少数株主持分当期首残高								
少数株主持分当期変動額								
少数株主持分当期末残高								

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第3回
上級 会 計 学 **解答用紙**

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(商業簿記と2科目で)

問題 1

	正誤	理 由
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

問題 2

問 1

(a)		(b)		(c)	
(d)		(e)			

問 2

①	
②	

問 3

問4

--

問5

--

問題3

(単位：千円)

事 象		(1)	(2)	(3)	(4)
解答 記号	流動 比率				
	総資産 負債比率				
流動資産					
固定資産					
計					
流動負債					
固定負債					
純資産					
計					

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第3回
上級 商業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(会計学と2科目で)

問題1

損益計算書

自×5年4月1日 至×6年3月31日 (単位：円)

I 売上高			
1 一般売上高	()		
2 割賦売上高	()		
3 積送品売上高	()		
4 試用品売上高	()		
5 未着品売上高	()	()	
II 売上原価			
1 期首商品棚卸高	()		
2 当期商品仕入高	()		
小計	()		
3 戻り商品	()		
合計	()		
4 期末商品棚卸高	()		
差引	()		
5 棚卸減耗費	()	()	
売上総利益		()	
III 販売費及び一般管理費			
1		
2 戻り商品損失	()		

当期の一般販売の原価率 %

問題2

- 1 ×3年度のストック・オプションに係る人件費の計上の仕訳

借 方	金 額	貸 方	金 額

- 2 ×4年度のストック・オプションに係る人件費の計上の仕訳

借 方	金 額	貸 方	金 額

- 3 ×5年度のストック・オプションに係る人件費の計上の仕訳

借 方	金 額	貸 方	金 額

- 4 スtock・オプションの権利行使時の仕訳

借 方	金 額	貸 方	金 額

問題3 (単位：円)

問1

連結損益計算書

...	
投資有価証券評価損	()
...	
当期純利益	10,000

連結包括利益計算書

少数株主損益調整前当期純利益	11,000
その他の包括利益：	
その他有価証券評価差額金	()
包括利益	()

連結株主資本等変動計算書

その他有価証券評価差額金	
当期首残高	()
当期変動額	()
当期末残高	()

問2

連結損益計算書

...	
投資有価証券評価損	()
...	
当期純利益	9,880

連結包括利益計算書

少数株主損益調整前当期純利益	10,880
その他の包括利益：	
その他有価証券評価差額金	()
包括利益	()

連結株主資本等変動計算書

その他有価証券評価差額金	
当期首残高	()
当期変動額	()
当期末残高	()

得点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(商業簿記と2科目で)

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第4回
上級 会 計 学 解答用紙

問題 1

正誤	売上戻り，売上値引，および売上割引は，売上高から控除するが，売上割戻しは，財務費用であるから営業外費用項目として取り扱う。
理由	
正誤	資本と利益の混同は禁止されているが，自己株式の処分や消却の会計処理をした結果，その他資本剰余金が負の残高になったときには，その都度，その他利益剰余金（繰越利益剰余金）で補てんする。
理由	
正誤	原価差額を売上原価に賦課した場合には，損益計算書において，売上原価の内訳科目として記載する。
理由	
正誤	トレーディング目的で保有する棚卸資産の評価損益は純額で営業外損益に表示するのが原則である。
理由	
正誤	営業の必要に基づいて経常的に発生する仕入先に対する貸付金の貸倒引当金繰入額は営業外費用とされる。
理由	
正誤	デリバティブ取引により生じる正味の債権及び債務は，時価をもって貸借対照表価額とし，評価差額は，原則として，繰延処理する。
理由	
正誤	外貨建金銭債務の決済による損益は，原則として，当期の為替差損益として営業外収益又は営業外費用とする。
理由	
正誤	キャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物」の中の現金とは，手許現金及び定期預金をいい，現金同等物とは，容易に換金可能であり，かつ，価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期投資をいう。
理由	
正誤	のれんは，無形固定資産の区分に表示し，その当期償却額は特別損失の区分に表示する。
理由	
正誤	割賦販売については，商品等を引き渡した日をもって売上収益実現の日とするが，収益の認識を慎重に行うため，割賦金の回収期限の到来の日又は入金の日をもって売上収益実現の日とすることができる。
理由	

問題 2

問 1

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

問 2

符号	
----	--

問 3

問 4

 ----- -----

問 5

問 6

問題3

【株主資本等変動計算書】

(単位：円)

株主資本		
資本金		
当期首残高	50,000,000	
当期変動額		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	10,000,000	
当期変動額		()
[]		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
その他資本剰余金		
当期首残高	800,000	
当期変動額		()
[]		()
[]		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	2,300,000	
当期変動額		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	380,000	
当期変動額		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
繰越利益剰余金		
当期首残高	3,832,000	
当期変動額		()
[]		()
[]		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
自己株式		
当期首残高	△ 1,560,000	
当期変動額		()
[]		()
[]		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	()	
当期変動額		()
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		()
当期変動額合計		()
当期末残高		()

得点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(会計学と2科目で)

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第4回 上級 商業簿記 解答用紙

問題 1

決算整理後残高試算表

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	[]	支払手形	1,931,300
当座預金	[]	買掛金	1,500,000
受取手形	[]	[]	[]
売掛金	[]	未払法人税等	[]
売買目的有価証券	[]	預り保証金	30,000
繰越商品	[]	資産除去債務	[]
繰延税金資産	[]	[]	[]
建物	[]	貸倒引当金*2	[]
備品	[]	建物減価償却累計額	[]
機械	[]	備品減価償却累計額	[]
土地	9,200,000	機械減価償却累計額	[]
長期貸付金	300,000	資本金	25,000,000
その他有価証券	[]	資本準備金	1,905,000
自己株式	[]	その他資本剰余金	[]
仕入	[]	利益準備金	800,000
給料	6,000,000	繰越利益剰余金	[]
旅費交通費	[]	[]	[]
貸倒引当金繰入額*1	[]	売上	[]
減価償却費	[]	受取利息	[]
利息費用	[]	受取配当金	[]
有価証券運用損益	[]	[]	[]
[]	[]		
法人税等	[]		
	[]		[]

*1 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

*2 貸倒引当金は、本来、設定対象となっている債権ごとに算定される必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金をまとめて記入すること。

問題2

問1

(N支店) 損益計算書 (単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
期首商品棚卸高	[]	売上高	[]
当期商品仕入高	[]	期末商品棚卸高	[]
営業費	[]		[]
減価償却費	[]		[]
支払利息	[]		[]
当期純利益	[]		[]
	[]		[]

(N支店) 貸借対照表 (単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	[]	買掛金	[]
商品	[]	長期借入金	[]
備品	[]	備品減価償却累計額	[]
	[]	本店	[]
	[]	当期純利益	[]
	[]		[]

問2

(W社) 損益計算書 (単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
期首商品棚卸高	[]	売上高	[]
当期商品仕入高	[]	期末商品棚卸高	[]
営業費	[]		[]
減価償却費	[]		[]
支払利息	[]		[]
当期純利益	[]		[]
	[]		[]

(W社) 貸借対照表 (単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	[]	買掛金	[]
商品	[]	長期借入金	[]
備品	[]	備品減価償却累計額	[]
	[]	資本金	[]
	[]	利益剰余金	[]
	[]		[]
	[]		[]

得点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(工業簿記と2科目で)

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第1回 上級 原価計算 解答用紙

問題 1

問 1

損益分岐点売上高 円

N製品の販売量 個 S製品の販売量 個

問 2

N製品の販売量 個 S製品の販売量 個

問 3

営業レバレッジ度

問 4

次期の営業利益額 円

計算過程 $7,920,000 \text{ 円} + 7,920,000 \text{ 円} \times (\quad) \%$

問 5

安全余裕率 %

問 6

損益分岐点売上高 円

N製品の販売量 個 S製品の販売量 個

問題 2

問 1

製品A 個 製品B 個

問 2

(1) 製品A 個 製品B 個

(2) 月間営業利益 円

問 3

材料αⅡに切り替えた方が、月間営業利益について、

円（有利・不利）であるため、切り替えるべきで（ある・ない）。

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第2回
上級 原価計算 解答用紙

得点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(工業簿記と2科目で)

問題1

問1

比較損益計算書(単位:円)

	予算	実績
I 売上高	()	()
II 標準変動売上原価	90,636,000	()
III 標準変動販売費	()	11,750,000
標準貢献利益	()	()
標準変動費差異	—	()
実際貢献利益	()	()
IV 固定費		
製造固定費	13,000,000	()
固定販売費及び一般管理費	()	4,550,000
営業利益	()	()

営業利益差異分析表(単位:円)

1. 予算営業利益		()
2. 販売部門差異		
売上高差異		
販売価格差異	△2,500,000	
販売数量差異	()	()
変動売上原価数量差異		()
販売費差異		
変動販売費予算差異	△250,000	
変動販売費数量差異	()	
固定販売費差異	△44,000	() ()
3. 製造部門差異		
変動売上原価価格差異		+3,500,000
製造固定費差異		+500,000
4. 一般管理部門差異		△325,000
5. 実績営業利益		()

問2

市場占有率差異 () 円 市場総需要量差異 () 円

問題2

問1 1個あたりの関連原価 円

問2 部品Aを内製する場合の方が, 円(有利・不利)であるため,
(内製・購入)すべきである。

問3 部品Aの月間必要量が, 個より多いとき, 購入する場合の方が有利である。

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第3回
 上級 原価計算 解答用紙

得点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
 (工業簿記と2科目で)

問1

I 事業部貢献利益 千円

問2

I 事業部損益分岐点売上高 千円

問3

売上高 %減少

問4

(a) 経営レバレッジ係数

(b) 事業部利益 千円

問5

最もリスクの高い事業部 事業部

の値が と最も高いため

問6

(a) K 事業部 千円 E 事業部 千円

I 事業部 千円 O 事業部 千円

(b) 最も効率的な事業部 事業部

の値が と最も高いため

(c)

問7

(a) K 事業部 千円 E 事業部 千円

I 事業部 千円 O 事業部 千円

(b) 最も効率的な事業部 事業部

の値が と最も高いため

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第4回
上級 原価計算 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(工業簿記と2科目で)

問題1

問1 取替時における正味キャッシュ・フロー 万円

問2 第3年目における正味キャッシュ・フロー 万円

問3 耐用年数到来時における正味キャッシュ・フロー 万円

問4

取替時における正味キャッシュ・フロー 万円

第3年目における正味キャッシュ・フロー 万円

耐用年数到来時における正味キャッシュ・フロー 万円

問5 採用（可・否）， 正味現在価値 円

問題2

問1

年

問2

円

問3

収益性指数

この設備投資案は、収益性指数が より大きいため、

採用すべきで（ある・ない）。

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第1回
上級 工業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(原価計算と2科目で)

問題 1

問 1

月末仕掛品原価	円
異常仕損費	円

問 2

(単位：円)

勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額

問 3

月末仕掛品原価	円
完了品原価	円

問 4

月末仕掛品原価	円
完了品原価	円

問 5

月末仕掛品原価	円
異常仕損費	円

問 6

完了品原価(月初仕掛品完了分)	@	円
完了品原価(当月着手完了品)	@	円
月 末 仕 掛 品 原 価		円

問 7

問題2

問1

製 品 A	@	円
製 品 B	@	円
製 品 C	@	円

問2

(単位：円)

勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額

問3

	製品A	製品B	製品C	合計
売 上 高	円	円	円	円
売 上 原 価	円	円	円	円
売 上 総 利 益	円	円	円	円

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第2回

上級 工業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(原価計算と2科目で)

問題 1

問 1 各製品の按分後の当月製造費用(単位：円)

	製品 X 1	製品 X 2
直接材料費		
加工費		

製品 X 1 の直接材料費の計算過程

製品 X 2 の加工費の計算過程

問 2 製品 X 1 の月末仕掛品原価および完成品原価

月末仕掛品原価 完成品原価
製品 X 1 () 円 () 円

問 3 製品 X 2 の正常仕損費および異常仕損費

正常仕損費 異常仕損費
製品 X 2 () 円 () 円

問 4 製品 X 2 の月末仕掛品が負担する正常仕損費

正常仕損費 () 円
計算過程

問 5 製品 X 2 の月末仕掛品原価および完成品原価

月末仕掛品原価 完成品原価
製品 X 2 () 円 () 円

問 6 仕掛品勘定から製品勘定への振替仕訳(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題2

問1

	原料A	原料B	原料C	合計
消費価格差異	円	円	円	円
歩留差異	円	円	円	円
配合差異	円	円	円	円

問2

	原料A	原料B	原料C	合計
配合差異	円	円	円	円
歩留差異	円	円	円	円

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第3回
上級 工業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
 (原価計算と2科目で)

問題 1
 問 1

製造指図書別原価計算表

(単位：円)

	No. 101	No. 102	No. 103	No. 101-2	No. 102-2	No. 103-2
直接材料費						
直接労務費						
加工部門						
組立部門						
製造間接費						
加工部門						
組立部門						
小 計						
仕損品評価額						
正常仕損費						
異常仕損費						
合 計						

問 2

(単位：円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

問 3

材料消費価格差異 () 円 () 差異
 賃 率 差 異 () 円 () 差異

問 4

工場事務部門費

(単位：円)

()		()	
()		()	
()		()	

組 立 部 門 費

(単位：円)

()		()	
()		()	
()		()	

問 5

動力部門費配賦差異 () 円 () 差異
 加工部門費配賦差異 () 円 () 差異

問題2

問1

部門費配賦表

(単位：円)

費目	合計	第1製造部門	第2製造部門	()	()
第1次集計額					
()					
()					
計					

問2

年 組 No.
氏 名

簿記能力検定試験 模擬試験 第4回
上級 工業簿記 解答用紙

得 点	確認欄
点	

制限時間【1時間30分】
(原価計算と2科目で)

問題 1

問 1

(単位：円)

	借 方	金 額	貸 方	金 額
(1)				
(2)				

問 2

 円

問 3

 円

問 4

製品 円材料 円仕掛品 円

問 5

(単位：円)

	借 方	金 額	貸 方	金 額
①				
②				

問 6

 円

問題2

問1

個

問2

円

問3

① 円

② 賃率差異 円 (差異)

作業時間差異 円 (差異)